



2012-13

週報



パワー浜松ロータリークラブ事務局
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2
オークラアクティホテル浜松4307号室
Tel/Fax 053-452-0800

Email info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp

創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日
認証伝達式/2003年4月29日
スポンサークラブ/浜松中RC



奉仕を通じて
平和を

田中作次
2012-13年度
国際ロータリー会長

RIテーマ「奉仕を通じて平和を」会長/田中作次(八潮RC)
2620地区のテーマ「クラブは自ら活性し、お互いのつながりを実感しながらロータリーを伸展させよう」
ガバナー/高野孫左エ門(甲府RC)
パワー浜松RCのテーマ「固く結ぼう心の絆、分かち合おう総ての仲間と」会長/小澤邦比呂

第464 回例会 11月20日(火) 19:30~21:00

オークラアクティホテル浜松4F平安の間

■司会:鈴木利和 廣瀬隼人 ■点鐘:小澤邦比呂 ■ロータリーソング:希望のエネルギー
■ゲスト:(有)ドリーム代表取締役 今釜伸也様 ■例会見学:藤田光弘さん

出席
報告

87名中60名
68.96%
前々回修正出席
率

会長挨拶

ロータリアンの皆様、こんばんは。

本日は有限会社ドリームの今釜伸也様、木下拓彦様、藤田允様にお越しいただきました。また例会見学で藤田光弘様が見えております。ありがとうございます。

11月17日18日に甲府市で地区大会が開催され青山幹事と行ってまいりました。18日には早朝よりお集まりいただきメンバーの皆様にもお越しいただきました。大変有意義な2日間であったと思います。

地区大会ではRI会長代理としてお越しいただいた茶道裏千家の千玄室様より茶道をとおしての平和について基調講演をいただきました。ロータリアンとして、人としての生きる術を語っていただきました。そしてその内容がこれからロータリークラブの進むべき道だということだと思います。

昔ちあきなおみさんは「4つのお願い」という歌をヒットさせましたが、私は高野ガバナーに「3つのお願い」をされました。一つは会員増強・退会防止、そして出席率向上、最後に地区大会の大懇親会の最後までいるということでした。

共に参加した皆さんの協力をいただきまして、懇親会の最後までいました。そして最後にガバナーと握手をして帰ってきました。「他人ごとではありませんよ」とガバナー。主催側には帰る時間やその他の問題に配慮をいただきました。それに応えるには我々メンバーは最後までいるべきと考えました。多分我々が主催した際に途中で帰られたらきっと寂しい思いをすのでしよう。一生懸命に我々にいい成長の機会を与えていただいたことに対して、最後まで一緒にその場にいることが最大のお返しであり、そして感謝の気持ちを表現する方法であろうと思います。あえてロータリアンの定義を作るのであれば「当たり前のことを当たり前にする人」そして「当たり前のことを当たり前にしようと努力する人」。それに特化することがロータリアンであると思います。

出席率が悪いことをガバナーより指摘されました。置かれた立場は色々ですが今一度、出席率について、今後のロータリー活動について考えてみていただきたいと思います。大変有意義な二日間でした。ありがとうございました。

委員会報告

広報・IT推進部会/金子公昭

第457回(10月2日)創立記念例会にて卓話を頂きました渡辺孝至様の卓話の全文をホームページにアップ致します。素晴らしい卓話でしたので、改めてお読みください。

幹事報告

- ①:新会員2名の公示期間が終了しました。次週入会式の予定です。
- ②:ロータリー友情交換プログラムの締め切りが12月6日となっておりますので興味のある方はお申し込みください。詳しくは国際奉仕PJまでお問い合わせください。
- ③:認知症サポーター講座が開催されますのでご参加ください。
- ④:地区大会で各種表彰をいただきました。会員増強につきましては前会長坂井光蔵さんと前会員増強部会長諸星圭吾さんに伝達いたします。
- ⑤:次週は「入会式」と国際奉仕プロジェクトの担当で「地区の国際奉仕活動の現状と取り組みについて」を予定しています。



会長挨拶



地区表彰伝達

スマイル報告

小澤邦比呂・青山素久

11月18日の地区大会には早朝よりご参加いただきまして誠にありがとうございました。次回地区協議会にも、更に大勢の皆さんで出席できる様お願い致します。

諸星圭吾

11月18日(日)甲府にて地区大会に参加してきました。参加メンバー22名、全員高野ガバナーと握手して帰ってきました。

坂井光蔵

18日の地区大会に参加された皆さんご苦労様でした。本日は金山土洲さんの69回目の誕生日です。おめでとうございます。



2012-13年度

第464回例会
11月20日(火)
議事事項



パワー浜松ロータリークラブ事務局
〒430-7733 浜松市中区板屋町111-2
オークラアクティホテル浜松4307号室
Tel/Fax 053-452-0800

Email info@power-hamamatsurc.jp
http://www.power-hamamatsurc.jp
創立/2002年10月22日 RI承認/2002年11月27日
認証伝達式/2003年4月29日
スポンサークラブ/浜松中RC



今釜様講演



演題・・・大規模な自然災害に備える

自己紹介

氏名 今釜伸也(いまがましんや)
生年月日 S41.09.01生(46歳)
生まれ 鹿児島県鹿児島市
学歴 鹿児島県立鹿児島南高等学校 体育科卒
スポーツ フェンシング部

会社案内

会社名 有限会社ドリーム
住所 浜松市南区若林町1080-1
事業内容 警備業、防犯設備、防災事業(従業員約100名)
企業理念 熱く大きく「夢」に挑む
加盟団体 静岡県警備業協会加盟、NPO静岡県災害支援隊加盟
趣味 ゴルフを少々!|ほんどに少々!
CSR活動 事業活動で得た利益の一部を社員参加のボランティア清掃活動や、福祉団体への寄付、孤児院へのボランティア警備

東日本大震災のボランティアで気づかされたこと的話を絞った話

津波のパワー



ボランティア活動



映像に残されてない、衝撃的事実

- 引き波が怖い・未だ見つかっていない行方不明者2,814人!
- 遺体安置所にあった遺体の一部
- 家族写真の貴重さ
- 避難所の臭い
- 自衛隊の方の努力
- 子供たちのサッカー

自助・共助・公助

自助とは?
自分で、自分自身や家族・財産を守ることは災害に対する基本的な行動であり、その行動を自助(じじよ)と呼びます。
災害に会う時の状況を想定してください。
・時間—どのような時間帯で被災するか。
・場所—その時、自分はどこにいるか。
・状況—どのように被災するか、そこにある危険物は何か。
時間帯についてはですが、自分が自宅に居るときと外出しているときで、どちらが多いでしょうか。大まかに言えば、平日は概ね表の通りです。

被災時間帯の確率	行動区分	時間	確率(%)
朝、夜	夕方から就寝まで6時間+寝ている間7時間=13時間、1日の約半分		50%
通勤・通学	1時間~3時間		10%
授業中・勤務中	6時間~8時間		30%
友人仲間と一緒に	1時間~3時間		10%

自助・共助・公助

共助とは?
地震災害では、警察・消防などが現場に到着するまでは、地域の人の助け合いが必要です。被災直後の公的な支援は皆無であり、大災害に化してできることは限界があります。その限界を補う考え方が、共助(きじよ)といふ考え方です。

公助とは?
警察、消防、市町村、都道府県などの行政機関、電気・ガス・水道など人の生活の基盤となるサービスを提供する公益企業が、災害支援活動を実施することを公助(こうじよ)と呼びます。

特に自助が大切!
東日本大震災で消防士254人、警察官25人が避難誘導活動のために津波に巻き込まれ亡くなっている実態!
それを教訓に、消防団員・警察といえどもまず自分の身の安全から!
自分が生き延びて初めて人を助けることができる。

まとめ

防災の、必要性は2500年前から叫ばれていた。
孔子の言葉に
居安思危(にあんしき)・・・安(やす)きに居(あ)りて危(あや)うきを思(おも)う
思則有備(しそくゆうび)・・・思(おも)えば則(すなわ)ち備(そな)えあり
有備無患(ゆうびむかん)・・・備(そな)えあれば患(うれ)い無(な)し

- 減災を地域で深める活動として
- ・災害は、忘れた頃にやってくる。防災意識の高揚と啓蒙の維持の反復活動
 - ・防潮堤の早期実現
 - ・避難所のシミュレーション(サバイバル教室)の開催
 - ・中学・高校生への防災教育
 - ・浜松祭りで防災訓練

ご静聴ありがとうございました。



忙しい中、駆けつけた、
塩谷立会員